

科目区分	科目区分に対応するOPの修得すべき資質・能力
I 研究指導	2. 心理学的研究能力の修得 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、心理学研究法の方法を概し、研究論理を構築して、研究をすることができる。
II 必修科目	1. 心理学領域の専門的知識・技能の修得 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。  4. 知識・実践・研究の融合 心理学の専門的知識、心理的実践活動、そして心理学研究の3領域を互換的に統合することができる。  5. 多面的な支援活動 心障アセスメントと心理学法を用い、こころの問題への援助、こころの健康の促進、家族関係の援助、福祉の援助、教育の援助、矯正の援助、臨床的実践活動、災害・被害への援助、心障・社会的弱者の支援（チームアプローチ、多職種連携、地域連携などを含む）などのいずれかを実践できる。
III 選択必修科目	<p>A群</p> <p>2. 心理学的研究能力の修得 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、心理学研究法の方法を概し、研究論理を構築して、研究をすることができる。</p> <p>1. 心理学領域の専門的知識・技能の修得 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。</p> <p>B群</p> <p>1. 心理学領域の専門的知識・技能の修得 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。  3. 多角的視点を持つ実践 社会の文化（多文化や多様性の共生社会を含む）に伴う課題や各種職種の要請に対応できるよう、多文化的に異なる視点から実践することができる。</p> <p>C群</p> <p>1. 心理学領域の専門的知識・技能の修得 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。</p> <p>D群</p> <p>1. 心理学領域の専門的知識・技能の修得 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。  3. 多角的視点を持つ実践 社会の文化（多文化や多様性の共生社会を含む）に伴う課題や各種職種の要請に対応できるよう、多文化的に異なる視点から実践することができる。</p> <p>E群</p> <p>4. 知識・実践・研究の融合 心理学の専門的知識、心理的実践活動、そして心理学研究の3領域を互換的に統合することができる。  1. 心理学領域の専門的知識・技能の修得 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。</p>
IV 選択科目	<p>4. 知識・実践・研究の融合 心理学の専門的知識、心理的実践活動、そして心理学研究の3領域を互換的に統合することができる。</p> <p>1. 心理学領域の専門的知識・技能の修得 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。</p> <p>5. 多面的な支援活動 心障アセスメントと心理学法を用い、こころの問題への援助、こころの健康の促進、家族関係の援助、福祉の援助、教育の援助、矯正の援助、臨床的実践活動、災害・被害への援助、心障・社会的弱者の支援（チームアプローチ、多職種連携、地域連携などを含む）などのいずれかを実践できる。</p>
V	F群 2. 心理学的研究能力の修得 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、心理学研究法の方法を概し、研究論理を構築して、研究をすることができる。

